



平成30年例大祭特集号
 第61号
 天沼八幡神社々務所
 〒167-0032
 杉並区天沼2-18-5
 電話 (3398)2514
 FAX (3398)2555

<http://www.amanumahachiman.jp/>

奉祝 天皇陛下御即位三十年

平成三十年

例大祭

八月二十五日(土)

神事

十四時 子ども神輿合同祓い
 二十時 宵宮祭

神楽殿での奉納

十四時 天沼八幡子ども囃子
 十八時 神輿会主催 奉納演芸
 (出演) 天沼八幡子ども囃子

邦楽囃子 望月太左衛門社中
 舞踊 瑞穂流 音呼ぐ未
 和太鼓 粹凜-KRIZI-
 十九時半 巫女舞 浦安の舞

八月二十六日(日)

神事

十時 例大祭
 十二時半 発輿祭
 十三時 宮出し
 十九時 宮入り

神楽殿での奉納

全日 里神楽 板橋区無形民俗文化財
 相模流 萩原社中

例大祭の時節に思うこと

天沼八幡神社 宮司 鶴岡隆志

本年は天皇陛下御即位三十年の慶節であります。残念ながら自然界も人の世も禍々しいことが頻発しており、日々平安を祈っております。西日本での地震や豪雨被害は甚大で、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被害に鑑み、当社でも、耐震に不安のある西側の塀を年内に改修する予定です。

さて、例大祭は、宮神輿になって十年の節目で、土日にあたり、しかも本祭りなので、神輿が六時間をかけて氏子全域を廻る神幸祭です。子ども囃子の車を先頭に錫杖、高張提灯、社名旗、五色旗、供奉者、巫女、神職などの隊列には、神社総代はじめ、神輿会や商店街、地元の小学生、中学生も関わり奉仕します。

御神威を間近に感じていただく良い機会ですので、近くを通過する際には門扉を開き、合掌してお迎えください。神人和楽の大祭となりますよう皆さまのご奉賛を切にお願い申し上げます。

新任ご挨拶

権禰宜 鶴岡慶子



このたび八幡神社権禰宜を拝命いたしました。先代宮司の祖父・現宮司の父の背中を見て育ち、幼少より生活の中に当たり前に神社がありました。昨年権正階の資格を得てから他神社での実務実習も含め、祭礼等で奉仕する機会が増え、ご参拝の方が清々しいお顔で帰っていかれる姿を拝見する度、益々神明奉仕に励むようになりました。

今後は、氏神様がお守りする地域、氏子の皆さまのために、微力ながら神職として何ができるかを考え、神事だけでなく年中行事を豊かにして氏神さまと皆さまを結ぶべく精進して参りたいと存じます。何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

発輿祭について

宮出しの時に執行される神事です。神輿渡御の安全と氏子崇敬者の繁栄を祈ります。今年には宮神輿になってちょうど十年目で、本祭りにあたり、記念に特別な「御守」を奉製しました。発輿祭に参列した担ぎ手(半纏着用者)と行列所役の方に授与します。首から下げて担いでください。



境内のクロマツ材で奉製
ご協力 道後徹氏
天沼二丁目在住

発輿祭 式次第

八月二十六日(日) 十二時三十分頃

- 一、号鼓
- 一、修祓
- 一、献饌
- 一、祝詞奏上
- 一、玉串奉奠

宮司、総代会会長、
神輿会会長、神輿担当副部長

次に、神輿会会長挨拶
次に、召し立て
(所役を呼ばれたら返事をして整列)
次に、諸注意

渡御行列所役表

- お囃子車 天沼八幡子ども囃子
- 錫杖 長尾常靖、雨谷晴句
- 高張提灯 小沢良太、藤田英雄
- 社名旗 久保淳一
- 大麻神職 鶴岡慶子
- 五色の御旗 石井理裕、大古田昌也、西本晋也、村田茂、林啓次郎
- 供奉者 村山幸喜司、関根秀樹、関根守、水野健一、川上雅博、井上泰志、武井萌香、山本真粹
- 巫女 鶴岡隆志
- 宮幣 井上和英
- 神輿会会長 橘國太郎

宮神輿	●幸所代表(鈴付きタスキ) ○副2名(オレンジタスキ)
天盛会一区	●高梨 仁 ○増茂 保明 ○梶原小夜子
天盛会二区	●竹橋 吉雄 ○杉本 達哉 ○斉藤 行夫
天盛会三区	●佐京 重男 ○矢島亜登武 ○鈴木 規夫
天盛会五区	●藤崎 健一 ○田貝 大孝 ○内山 雅史
自治会	●柳 信寛 ○清水 春明 ○伊藤 茂
新生会	●佐藤 栄吉 ○荒井 潤哲 ○野村

還幸祭について

宮入りの時に執行される神事です。途中から加わった担ぎ手たちも増え、祭りも最高調の盛り上がりで手締めとなります。そして渡御の無事帰還を奉告し、大神様にお礼申し上げます。

還幸祭

八月二十六日(日) 十九時頃

式次第は発輿祭に準ずる

直会(なおりい)

還幸祭終了後、社殿右側奥に神輿会の直会会場が開きます。担ぎ手の方は、是非お立ち寄りください。

里神楽演目表(26日)
一、巫女舞 舞台清めの舞
二、八幡山
三、稲荷山
四、ちのり 弓流しの舞
五、大黒天 宝授けの舞
六、天孫降臨
七、山神による納めの舞
相模流 萩原社中

(3)

天沼八幡子ども囃子

平成二十七年の本祭りから始まった子ども囃子も四年目を迎えました。

ご縁あって指導は、重要無形文化財「長唄」総合認定保持者で、伝統芸能教場鼓楽庵代表、山桜会の望月太左衛先生にお願いしております。太左理先生も一緒に、二十二名の子ども達がお稽古に励んでいます。

初心者的一年生から、今年四年目の四年生など、殆どが天沼小学校に通う地元に住む子どもたちです。

火曜日の一時間、畳に正座し、「天テレツクツク天スケ天」と、全員で唱和し、手を覚えていきます。子どもたちは、楽器ごととに違う口唱歌で、ごく自然に三種の打楽器が打てるようになります。そんな伝統的なお稽古の手法にも日本らしさを感じられます。

お笛は、助っ人の大人にお任せしますが、大太鼓、締め太鼓、当たり鉦は子どもたちが代わるがわる担当します。今年の出番は二日間にわたり三回あります。特に渡御行列の先頭で、車に乗ってお囃子の演奏をすることが三年に一度の大仕事です。



望月太左衛先生(右側)と太左理先生

巫女舞 浦安の舞

浦安の舞は、昭和天皇の御製

「**天地の神に祈る 朝なごの海のごとくに 波たたぬ世を**」に

宮内庁楽部楽長多忠朝が作曲振付をしました。皇紀二六〇〇年の奉祝が行われた昭和十五年以来、今でも盛んに奉奏されています。

巫女装束に花簪を付け、前半は檜扇、後半は鈴で舞います。

当社では、平成十六年夏、神楽殿竣工の奉祝を機に浦安の舞の奉奏が始まりました。今年には四代目の舞姫を務めるため、天沼中学一年生の女子三人が稽古中です。

鈴舞、清らかな音色



- 一臈 村上迪穂
- 三臈 鷲頭伶衣
- 二臈 橋 歩実

祝祭日には 国旗を掲げましょう

一日、十五日には氏神様へ お参りに行きましょう

天沼中学二年生 職場体験実習

六月二十六日(火)〜二十八日(木)

男女各二名ずつ計四名が、三日間神社での体験実習をしました。

まず、神社の歴史や神道について基本的な事柄を学びました。夏越の大祓式を控え、神事の準備、境内草取りや、竹ぼうきでの清掃。そして、古く平安時代に整えられた祝詞の大祓詞を毛筆で書き、男子は白衣白袴、女子は巫女の着装で奏上しました。



大祓詞を清書



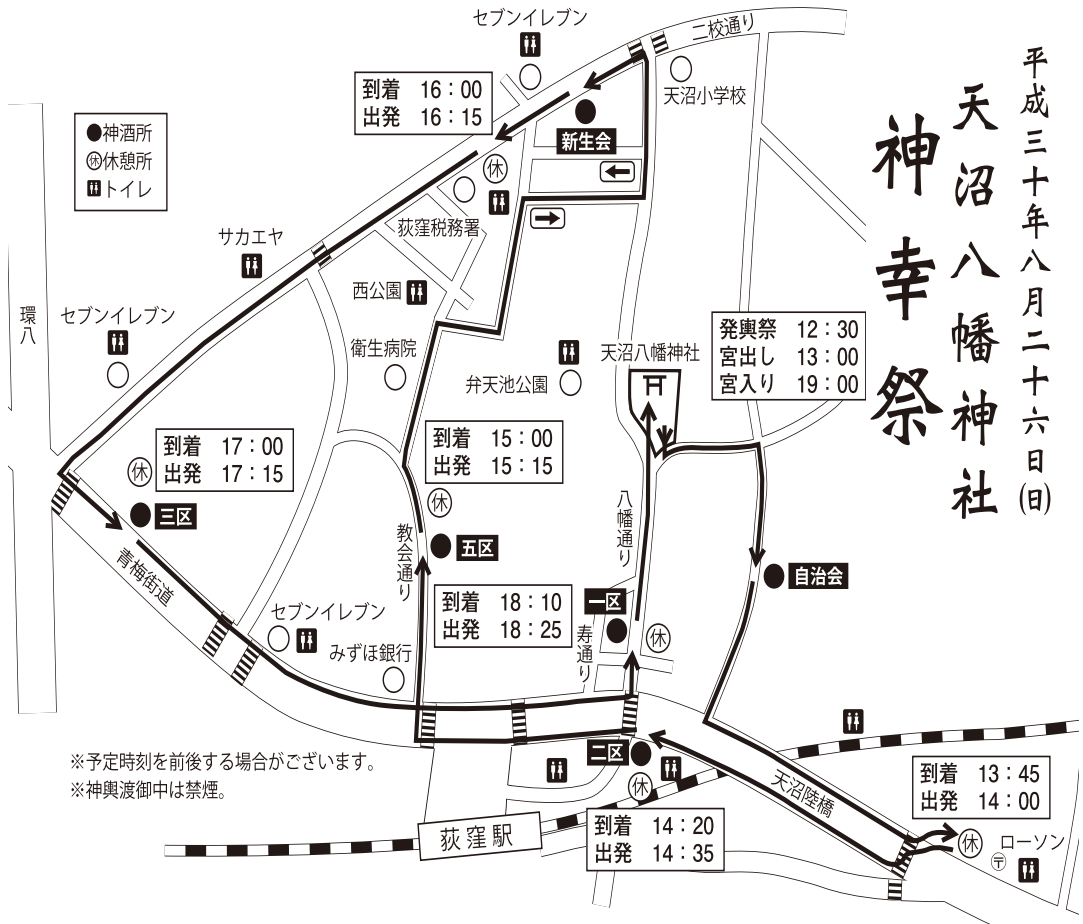
着装して昇殿

当社責任役員、総代会会長で前神輿会会長の水野長太郎氏が三月に逝去されました。代々神社総代をお務めいただき、責任役員、神輿会会長としても長きにわたりご尽力くださいました。ご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

日の本に生まれいでにし益人は 神より出でて神に入るなり

中西 直方

平成三十年八月二十六日(日)
**天沼八幡神社
 神幸祭**



※予定時刻を前後する場合がございます。
 ※神輿渡御中は禁煙。

◆担ぎ手の決まり事◆

左記のルールを守って参加してください

- 一、半纏を着用してください
 (なるべく宮半纏、ない方には貸与します)
- 一、神輿会のリーダー(鈴つきのタスキ、オレンジのタスキ)の指示に従ってください
- 一、全行程禁煙です

※広く氏子崇敬者の方に神輿に関わっていただきたく宮半纏を貸与しています。氏名、連絡先を伺います。クリーニングの上2週間以内のご返却をお願いします。ご不明な点は当社授与所にお問い合わせください。

鎮座地 杉並区天沼2の18の5
 電話 03(3398)2514



う回
 のお願い

平成**30**年**8**月**26**日(日)
 午後**6**時〜午後**7**時頃
 天沼八幡神社例大祭。宮神輿が巡行
 しますのでう回をお願い致します。

天沼八幡神社みこし会
 萩 塚 崎 廣 啓